

●上野沼
いばらきヘルロードに指定されている上野沼の周囲は約2.6km。春は遊歩道に桜が咲き、夏は水面をスイレンが彩る。周囲にはケビンやオートキャンプ場を有するキャンプ施設もある。

●上野沼やすらぎの里キャンプ場

●天台宗薬王寺本堂
「もみじ寺」と呼ばれる紅葉の名所。江戸時代に中興開山とされている。本堂は1723年に再建された。

●天台宗薬王寺山門
薬王寺の山門は二宮尊徳が地元・青木村の農業復興で築いた青木堰で使った木材を使用し、1918年に完成した。

●散策コース
大和駅の周辺には沼や池が点在する。最も大きいのが上野沼。江戸時代初期に灌漑用として築かれ、現在は市民の憩いの場所となっている。黒鳥が水面を優雅に進み、休日にはボートで遊ぶ人の姿も見られる。上野沼の中央には噴水が設置され、約10mの高さまで吹き上がる(土曜日と日曜日の10:00~14:00に、30分間隔で10分間噴水)。南側には新治廃寺の瓦を焼いたと言われる国指定史跡の上野原瓦窯跡がある。

Vol.115

駅からのふるさと紀行 JR水戸線

大和駅

新 治 岩 瀬

●次回は11月28日 掲載予定です。 ※イラストはイメージです。

働く人と、世界を走る。

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)
https://www.ibaraki-isuzu.co.jp



●無人駅だが駅舎には待合室がある。駅前には地域産産を象徴する燈籠がある。



●駅前ロータリー



●ホームは1面1線



旧村名を今に語り継ぐ駅
周辺では新しいまちづくりが進む

池がある駅前公園と弁天沼に挟まれたJR水戸線・大和駅は、昭和63年6月20日に開設された。桜川市役所(本庁舎)の最寄り駅。当初は一部の列車のみの停車だったが、平成17年7月からは、すべての列車が停車するようになった。

駅があるのは桜川市高森。桜川市が誕生したのは平成17年で、開業当時は大和村だった。石材のまち、雨引観音があるまちとして知られた大和村。大和駅が設置される前年春まで、関東鉄道筑波線が村内を通っており、「東飯田駅」と「雨引駅」があったが、村名を冠した駅はなかった。

平成30年には、駅のすぐ北側に、地域医療を担う「さくらがわ地域医療センター」が完成した。北関東自動車道の桜川筑西ICにも近い優れた立地環境から、現在、駅とインターチェンジの間で、新しいまちづくりが進められている。